

八千代市上下水道事業経営戦略

前期実施計画

平成28年度取組状況

平成29年9月

八千代市上下水道局

目 次

第1章 水道事業編

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第2 前期実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第3 前期実施計画 個別取組み状況

- 1 基本方針1 水道事業の運営基盤の向上
 - ①水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・5
 - ②浄・給水場の統廃合の検討・・・・・・・・・・7
 - ③定員管理の適正化・・・・・・・・・・7
 - ④民間資金・ノウハウの活用の検討・・・・・・・・・・8
 - ⑤広域化の検討・・・・・・・・・・9
 - ⑥適正な資金管理・・・・・・・・・・9
 - ⑦水道料金の見直し・・・・・・・・・・10
 - ⑧手数料の見直し・・・・・・・・・・12
- 2 基本方針2 安心・快適な給水の確保
 - ①水質管理体制の充実・・・・・・・・・・13
 - ②鉛製給水管の更新・・・・・・・・・・14
 - ③貯水槽の衛生管理指導・・・・・・・・・・14
- 3 基本方針3 災害対策の強化
 - ①浄・給水場の耐震化・老朽化対策・・・・・・・・・・15
 - ②水道管路の耐震化・老朽化対策・・・・・・・・・・16
 - ③漏水対策の推進・・・・・・・・・・17
 - ④応急給水用資機材の整備・・・・・・・・・・17
 - ⑤復旧体制の強化・・・・・・・・・・18
 - ⑥井戸水の確保・・・・・・・・・・20

第2章 公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

第2 前期実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第3 前期実施計画 個別取組み状況

- 1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上
 - ①下水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・ 25
 - ②定員管理の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
 - ③民間資金・ノウハウの活用の検討・・・・・・・・・・ 26
 - ④広域化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - ⑤適正な資金管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
 - ⑥下水道使用料の検証・検討・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
 - ⑦災害復旧体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 2 基本方針2 汚水の適正な処理
 - ①汚水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
 - ②汚水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
 - ③水質規制の指導・監督・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
 - ④未接続の解消・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
- 3 基本方針3 浸水対策の強化
 - ①雨水施設の整備拡充・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - ②雨水施設の維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
 - ③雨水流出抑制策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 1 章

水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	196,089 人	196,144 人	55 人
給水人口(B)	194,373 人	194,426 人	53 人
普及率(B/A)	99.1%	99.1%	0%
年間総給水量(C)	18,654,400 m ³	18,711,446 m ³	57,046 m ³
年間総有収水量(D)	18,076,100 m ³	18,229,423 m ³	153,323 m ³
有収率(D/C)	96.9%	97.4%	0.5%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支 (単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	3,695,637	3,850,385	154,748
うち水道料金	2,799,775	2,846,909	47,134
支出(B)	3,448,595	3,364,174	△84,421
純利益(A-B)	247,042	486,211	239,169

②資本的収支 (単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	1,376,694	1,398,643	21,949
うち企業債	850,000	850,000	0
支出(B)	3,058,775	2,882,023	△176,752
うち建設改良費	2,475,319	2,298,567	△176,752
資本的収支不足額(A-B)	△1,681,811	△1,483,380	198,431

③企業債残高 (単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	13,180,175	12,980,174	△200,001

④資金残高 (単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	1,714,269	2,236,980	522,711

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

平成28年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全28項目のうち、全ての項目について計画どおり実施しました。

また、平成28年度の取組み計画としていなかった1項目について、実施しました。

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①水道施設の計画的・効率的な管理		
長期的な更新需要	A	5
浄・給水場の設備管理台帳の整備・更新	A	5
施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施	A	6
管路の計画的な更新	A	6
②浄・給水場の統廃合の検討		
統廃合の検討・実施	A	7
③定員管理の適正化		
定員管理の適正化	A	7
④民間資金・ノウハウの活用の検討		
先進事例の調査・研究	A	8
水道施設管理業務委託における業務内容の検討	A	8
⑤広域化の検討		
国・県の方針や先進事例の調査・研究	A	9
⑥適正な資金管理		
企業債の借入の抑制	A	9
期中における資金管理の徹底	A	10
⑦水道料金の見直し		
水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	A	10
用途区分「行政財産用」の廃止	A	11
一般用料金の見直し	A	11
⑧手数料の見直し		
設計審査・しゅん工検査手数料の見直し	A	12

注)実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかったもの

－：平成28年度における取組みがないもの ※：平成28年度における取組みはないが、実施したものの

◆基本方針2 安心・快適な給水の確保

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①水質管理体制の充実		
水質検査計画に基づく水質検査	A	13
水安全計画の運用	A	13
②鉛製給水管の更新		
取替え工事	A	14
③貯水槽の衛生管理指導		
パンフレット作成・配布	A	14
啓発・指導	A	15

◆基本方針3 災害対策の強化

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①浄・給水場の耐震化・老朽化対策		
村上給水場改良工事	—	15
②水道管路の耐震化・老朽化対策		
石綿セメント管の入れ替え	A	16
非耐震管の入れ替え	※	16
③漏水対策の推進		
漏水調査の実施	A	17
④応急給水用資機材の整備		
給水タンクの整備	A	17
非常用給水袋の保管・補充	A	18
⑤復旧体制の強化		
災害時を想定とした訓練の実施	A	18
関係機関・事業者との連携強化	A	19
災害マニュアルの見直し・修正	A	19
⑥井戸水の確保		
井戸施設の点検・管理	A	20

第3 前期実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方

年度別実施計画
 前期実施計画に記載している平成28年度から32年度までの実施計画を記載しています。

(例)

取組項目	企業債の借入の抑制				
取組目的・内容	年々増加する企業債残高を圧縮するために、適正な内部留保資金残高を確保したうえで、企業債の借入れを抑制する必要があります。前期計画期間は、石綿セメント管の更新や村上給水場の改良工事などへの多額の事業費が見込まれることから、企業債の充当率を一定の範囲にとどめることを目標とします。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定
実施状況	A				
28年度実施内容	平成28年度における企業債の充当率を47.6%（850,000千円）とし、借入れの抑制に努めました。				
28年度目標設定	企業債充当率（上限）	目標値		実績値	
		50%		47.6%	

実施状況

- 計画どおり実施したものは「A」
- 計画どおりではないが実施したものは「B」
- 実施できなかったものは「C」
- 平成28年度における取組みがないものは「-」
- 平成28年度における取組みはないが、実施したものは「※」を表示しています。

28年度目標設定
 前期実施計画において数値目標を設定しているものについては、「設定目標」、「目標値」、「実績値」を記載しています。

1 基本方針 1 水道事業の運営基盤の向上

①水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	長期的な更新需要				
取組目的・内容	平成 23 年度に策定した「八千代市水道事業第 2 次長期基本計画」を見直し、新たな施設の更新計画を策定します。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	「八千代市水道事業第 2 次長期基本計画」の見直し	長期的な更新計画・財政収支見通しの作成	計画の見直し	計画の見直し	計画の見直し
実施状況	A				
28 年度実施内容	2 次長期基本計画を見直すにあたり、「水道施設再構築基本構想策定等業務委託」を発注しました。その中で給水人口及び水需要の見直しを地区ごとに行ったところ、平成 38 年までは増加傾向であるが、その後減少していく推計となり、それに伴い一日最大給水量も平成 38 年をピークに減少していく推計となりました。以上のことから本市における水道施設の理想像としては、市内の給水を 3 つの浄水場でまかなう案が出されました。				
28 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	浄・給水場の施設管理台帳の整備・更新				
取組目的・内容	機械設備の管理台帳システムを整備し、更新やデータの管理を行い、資産管理水準の向上を図ります。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	施設管理台帳システム整備	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理	台帳システムの更新・データ管理
実施状況	A				
28 年度実施内容	浄・給水場の運転管理等業務委託にて設備の調査・抽出を行い、設備管理台帳システムの作成を行いました。				
28 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	施設の点検・診断マニュアルに基づく点検の実施				
取組目的・内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づく点検を実施し、老朽化などの状況を確認します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	「施設の点検・診断マニュアル」に基づき各施設の点検を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	管路の計画的な更新				
取組目的・内容	管路の現況調査に基づき、管路の実耐用年数を設定し、今後の更新需要の精査を行います。平成31年度から行う管路の耐震化工事については、優先順位を設定したうえで、事業費を平準化し、計画的に進めていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	管路の現況調査による実耐用年数の設定			計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	八千代市内の全ての水道管（送水管・導水管・配水管）の布設年度・管種・口径を調査すると共に埋設状況を把握するため、試掘調査6箇所、平成27年度の工事で採取した管体及び土壌を3箇所、平成28年度工事で採取した土壌及びボルト5箇所の計14箇所の埋設環境調査（土壌分析、土壌抽出水分析、ボルト・ナットの老朽度）を行い、既設管の実耐用年数の設定、地震時の被害設定を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

②浄・給水場の統廃合の検討

取組項目	統廃合の検討・実施				
取組目的・内容	施設の更新需要が増加していく中、浄・給水場施設の更新に係る投資の合理化を目的として、施設のダウンサイジングを進めるために、7つある浄・給水場の統廃合について検討を進めます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	水道施設再構築基本構想の策定	構想に基づく更新計画の見直し	統廃合の推進	統廃合の推進	統廃合の推進
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>給水人口の見直しを地区ごとに行い、水需要とそれを送り出す施設の能力等を検討し、施設の統廃合を視野に入れた「水道施設再構築基本構想」を策定しました。その結果、給水人口は平成38年までは増加傾向であり、その後減少していく推計となり、それに伴い一日最大給水量も平成38年をピークに減少していく推計となりました。以上のことから本市における水道施設の理想像としては、市内の給水を3つの浄水場でまかなう案が出されました。</p> <p>また、この案を計画とするには水源・施設・配管等において解決しなければならない課題が多数あり、その抽出を行いました。</p>				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

③定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	平成18年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A				
28年度実施内容	再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

④民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。これまで様々な業務における民間委託の拡大を行ってまいりましたが、今後も委託業務の拡大を進めるとともに、民間の資金・ノウハウの活用について、先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
28年度実施内容	水道と下水道の両施設関連業務を一括で発注する包括委託の事例などの情報収集を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	水道施設管理業務委託における業務内容の検討				
取組目的・内容	浄水場の施設管理業務委託において、平成33年度からの委託業務内容の拡大について検討します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査・検討	調査・検討	・業務内容の確定 ・仕様書の作成	・仕様書の作成 ・契約方法の確定	委託契約
実施状況	A				
28年度実施内容	今年度契約するにあたり初めて施設管理業務委託に取り入れた小規模修繕業務の進捗状況を随時確認しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑤広域化の検討

取組項目	国・県の方針や先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市が受水している用水供給事業者である北千葉広域水道企業団や近隣水道事業者との事業統合による広域化については、具体的な検討に至っておりませんが、長期的な視点から他事業者が進める事業統合・経営統合・施設統合などの事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
28年度実施内容	県内水道の統合・広域化のリーディングケースとして九十九里・南房総地域用水供給事業者の統合及び、これに関連する末端給水事業者の統合について検討が進められており、これらの広域化事業に関連する流れや検討内容等について情報収集を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑥適正な資金管理

取組項目	企業債の借入の抑制				
取組目的・内容	年々増加する企業債残高を圧縮するために、適正な内部留保資金残高を確保したうえで、企業債の借入れを抑制する必要があります。前期計画期間は、石綿セメント管の更新や村上給水場の改良工事などへの多額の事業費が見込まれることから、企業債の充当率を一定の範囲にとどめることを目標とします。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定	充当率の上限設定
実施状況	A				
28年度実施内容	平成28年度における企業債の充当率を47.6%（850,000千円）とし、借入れの抑制に努めました。				
28年度目標設定	企業債充当率（上限）		目標値	実績値	
			50%	47.6%	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A				
28年度実施内容	定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入れを行いました。預入先の選定は、預入れの都度各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。 企業債の借入れについては、支払利息の縮減に向けて、金利見直し方式の採用、据置期間の撤廃等の可否についての検討を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦水道料金の見直し

取組項目	水需要・料金収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	水道料金の収入状況や財務状況の確認・分析により、料金見直し（改定）の時期や改定内容について検討を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A				
28年度実施内容	メータ検針等に基づく調定水量及び水道料金について、業態別の分析を毎月行いました。また、前年度の決算状況等により財務状況の確認・分析を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	用途区分「行政財産用」の廃止				
取組目的・内容	市が管理する建物や学校・公園における水道料金の用途区分である「行政財産用」については、負担の公平性を図ることや増収を見込むために、平成29年度から廃止し一般料金を適用します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・審議会への諮問 ・議会への上程	「行政財産用」の廃止による一般料金の適用			
実施状況	A				
28年度実施内容	水道料金の従量料金の用途区分「行政財産用」の廃止について、八千代市上下水道事業運営審議会への諮問・答申を経て、八千代市水道事業給水条例の一部を改正する条例が9月議会で可決され、平成29年3月31日をもって「行政財産用」の用途区分を廃止しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	一般用料金の見直し				
取組目的・内容	今後の施設の耐震化・老朽化対策への事業費の増加に対応するため、投資の合理化・効率化や経費の節減などを進めていきますが、それでもなお投資・財政計画において資金不足が生じることが避けられないため、水道事業の根幹をなす水道料金の見直しを実施する必要があります。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・財務状況等の分析 ・料金体系の検討	・財務状況の分析 ・料金体系の検討 ・審議会での審議	・財務状況の分析 ・料金体系の検討 ・議会への上程	料金の見直しの実施	見直し後の検証
実施状況	A				
28年度実施内容	平成27年度の決算状況や、給水人口の推移等を確認しました。 また、県内の他の水道事業体や全国の類似事業体との料金体系等の比較や、近年料金改定を行った事業体の特徴を分析しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑧手数料の見直し

取組項目	設計審査・しゅん工検査手数料の見直し				
取組目的・内容	利用者の負担の適正化と収入の確保を目的として、給水装置工事に係る設計審査・しゅん工検査手数料を見直し、定期的に事務コストの検証を行い、必要に応じて手数料の見直しの検討を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・議会への諮問 ・議会への上程	手数料の改定		事務コストの検証	
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>指定給水装置工事業者が行う給水装置工事に対し、市が行う設計審査及びしゅん工検査に係る手数料において、事務のコストに対する負担の適正化を図るため見直しを行うことについて、八千代市上下水道事業運営審議会への諮問・答申を経て、八千代市水道事業給水条例の一部を改正する条例が9月議会で可決され、平成29年4月1日に手数料額を改定しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計審査に係る手数料 1,000円を2,000円に改定 ・しゅん工検査に係る手数料 1,000円を4,000円に改定 				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

2 基本方針2 安心・快適な給水の確保

①水質管理体制の充実

取組項目	水質検査計画に基づく水質検査				
取組目的・内容	水道法 20 条で定められている定期水質検査を行い，必要があれば臨時の水質検査も行います。検査地点は水源，浄水場着水井，浄・給水場の出口及び水道法に基づく検査地点である末端給水栓とし，検査結果を公表することにより水質検査の透明性を確保します。				
年度別実施計画	28年度 実施・公表	29年度 実施・公表	30年度 実施・公表	31年度 実施・公表	32年度 実施・公表
実施状況	A				
28年度実施内容	平成 27 年度末に公表した水質検査計画に沿って，法令で義務付けられた定期検査を実施することにより，水の安全性かつ清浄な水の供給を確認し，水道需要者への情報提供を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	

取組項目	水安全計画の運用				
取組目的・内容	平成 25 年度に策定した「八千代市水道事業水安全計画」を運用し，毎年度評価を実施し，水源から蛇口までにおけるリスクの管理を進め，安全な水道水を供給します。				
年度別実施計画	28年度 評価・見直し	29年度 評価・見直し	30年度 評価・見直し	31年度 評価・見直し	32年度 評価・見直し
実施状況	A				
28年度実施内容	上下水道局職員から成る「水安全計画推進チーム」において，年度末にレビューを行い，1 年間に起こった不具合や最新の工法等，水道に関する情報交換を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値 —	実績値 —	

②鉛製給水管の更新

取組項目	取替え工事				
取組目的・内容	安全な水道水の供給と漏水防止のため、既設鉛製給水管からポリエチレン管への取替え工事を行います。また、配水管の耐震化工事と合わせた施工を行い、平成30年度までに完了させます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実施	実施	実施(完了)		
実施状況	A				
28年度実施内容	平成28年度発注工事のうち、配水管改良工事の本管取替え工事に伴う給水管取替え工事において272個、公道漏水修繕業務委託において101個、計373個の取替え工事を行い、ほぼ目標どおりの達成となりました。				
28年度目標設定	取替え個数		目標値	実績値	
			384個	373個	

③貯水槽の衛生管理指導

取組項目	パンフレット作成・配布				
取組目的・内容	小規模貯水槽(10 m ³ 未満)を設置している建物の管理者に対し、適正な維持管理を指導することにより、清浄な飲料水の確保を図るため、啓発・指導用のパンフレットを作成します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	内容検討	作成 (500部)	配布	配布	配布
実施状況	A				
28年度実施内容	パンフレット作成のため内容の検討を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	啓発・指導				
取組目的・内容	適正管理への啓発・指導を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実施（ホームページ・広報誌等による啓発）	実施	実施	実施	実施
実施状況	A				
28年度実施内容	市のホームページで啓発を行いました。				
28年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

3 基本方針3 災害対策の強化

① 浄・給水場の耐震化・老朽化対策

取組項目	村上給水場改良工事				
取組目的・内容	市内7か所の浄・給水場については、昭和40年代から50年代に整備されたものが多く、経年による老朽化が進み、現在、大規模な改良工事を順次行っています。改良工事にあわせ、施設の耐震化を進めることにより、災害に強い施設をめざします。老朽化が著しい村上給水場について、配水池の耐震化や電気設備の更新を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		実施設計	実施設計	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新	改良工事 ・配水池の耐震化 ・電気設備の更新
実施状況	—				
28年度実施内容	平成28年度実施計画なし				
28年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

②水道管路の耐震化・老朽化対策

取組項目	石綿セメント管の入れ替え				
取組目的・内容	耐震化されていない水道管を地震に強い耐震型ダクタイル鋳鉄管（GX型）へ入れ替えることにより，地震などの災害時において，安定的な給水を維持することができます。石綿セメント管から耐震管へ入れ替える工事は平成30年度までに完了させます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	更新工事	更新工事	更新工事 (完了)		
実施状況	A				
28年度実施内容	13,102.5mの石綿セメント管を耐震型ダクタイル鋳鉄管に入れ替える工事を行いました。				
28年度目標設定	更新率		目標値	実績値	
			90.5%	90.5%	
	水道管路の耐震化率		54.0%	53.8%	

取組項目	非耐震管の入れ替え				
取組目的・内容	平成31年度からは，石綿セメント管以外の非耐震管を耐震管へ入れ替える工事を行っていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	—	—	実施設計	更新工事	更新工事
実施状況	※				
28年度実施内容	既設管路の現況調査を行ったことにより，管路更新の優先順位を決めるための基礎資料を作成しました。 ※平成28年度実施を予定していた計画はありませんでしたが，今後の計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③漏水対策の推進

取組項目	漏水調査の実施				
取組目的・内容	計画的に漏水調査を行い，早期に修繕することで無効水量（漏水などにより損失した水量）の軽減を図ります。また，早期に発見し修繕することにより，道路陥没などの2次災害を防止します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	計画に沿った調査地区 9,796 件の漏水調査を実施し，8 件の漏水を発見し，漏水箇所の修繕を行いました。				
28年度目標設定	調査区域	目標値		実績値	
		大和田・萱田町・萱田・ゆりのき台・緑が丘・高津東・吉橋地区	大和田・萱田町・萱田・ゆりのき台・緑が丘・高津東・吉橋地区	大和田・萱田町・萱田・ゆりのき台・緑が丘・高津東・吉橋地区	大和田・萱田町・萱田・ゆりのき台・緑が丘・高津東・吉橋地区
	調査予定件数	10,000 件		9,796 件	

④応急給水用資機材の整備

取組項目	給水タンクの整備				
取組目的・内容	災害時の応急給水活動に備えるために，給水タンク（2 m ³ ）を平成 31 年度までに 30 基整備します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	購入	購入	購入	購入	
実施状況	A				
28年度実施内容	給水タンクを 2 基購入し，合計 24 基の保有となりました。				
28年度目標設定	給水タンクの保有数	目標値		実績値	
		24 基		24 基	

取組項目	非常用給水袋の保管・補充				
取組目的・内容	非常用給水袋（60）を備蓄し，現状で保管している水準の 15,000 枚以上を常に確保します。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充
実施状況	A				
28 年度実施内容	前年度同様 60用の給水袋を 15,000 枚備蓄しています。				
28 年度目標設定	給水袋保管数	目標値		実績値	
		15,000 枚		15,000 枚	

⑤復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	大地震などによる被災を想定した応急給水訓練や復旧訓練を継続的にを行います。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A				
28 年度実施内容	<p>上下水道局防災訓練を平成 28 年 7 月に実施し，震度 6 弱の地震発生による浄水場の停電，配水管損傷による 150 世帯の断水，1,300 世帯の濁り水発生を想定し，配水管の応急復旧訓練及び給水タンクを使用した応急給水訓練を実施しました。</p> <p>また，八千代市災害対応訓練を平成 29 年 1 月に実施し，震度 6 強の地震発生により配水管が損傷し 700 世帯が断水したことを想定し，応急給水訓練を実施しました。</p>				
28 年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

取組項目	関係機関・事業者との連携強化				
取組目的・内容	他の水道事業者や水道工事事業者と共同での訓練実施などにより、連携の強化を図ります。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施	・災害応援協定の確認・見直し ・共同での訓練の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	平成28年7月に実施した上下水道局防災訓練において、関係事業者と共同での訓練を実施しました。災害時における協定に基づき、仮設配管の実演など、損傷した管路の応急復旧訓練や、応急給水訓練を実施しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	災害マニュアルの見直し・修正				
取組目的・内容	災害マニュアルなどを適宜見直し、修正を行っていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正
実施状況	A				
28年度実施内容	組織改正に伴い、災害マニュアルの改訂を行い、これに基づき防災訓練を実施しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑥井戸水の確保

取組項目	井戸施設の点検・管理				
取組目的・内容	災害時などにおいても安全で安心できる水道水を供給するために、自己水源である井戸水の保全を図ります。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	井戸施設において日常点検を行い、不具合箇所については適時修繕を行いました。また、八千代台5号井戸については揚水機の入替を行い県への申請を行いました。そして井戸水の水質検査については予定どおり実施し、水源として良質な水質であることを確認しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

第2章

公共下水道事業編

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画	実 績	増 減
行政区域人口(A)	196,089 人	196,144 人	55 人
整備区域内人口(B)	180,010 人	180,333 人	323 人
水洗化人口(C)	178,616 人	178,832 人	216 人
普及率(B/A)	91.8%	91.9%	0.1%
水洗化率(C/B)	99.2%	99.2%	0%
年間総汚水処理量(D)	20,716,600 m ³	20,916,992 m ³	200,392 m ³
年間総有収水量(E)	17,001,700 m ³	17,126,480 m ³	124,780 m ³
有収率(E/D)	82.1%	81.9%	△0.2%

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	3,361,867	3,371,864	9,997
うち下水道使用料	2,171,482	2,188,109	16,627
支出(B)	3,382,517	3,187,233	△195,284
純利益/損失(A-B)	△20,650	184,631	205,281

②資本的収支

(単位:千円 消費税込)

	計 画	実 績	増 減
収入(A)	482,759	501,853	19,094
うち企業債	195,100	211,400	16,300
うち国庫補助金	100,326	117,165	16,839
支出(B)	1,270,642	1,258,108	△12,534
うち建設改良費	502,210	491,177	△11,033
資本的収支不足額(A-B)	△787,883	△756,255	31,628

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末企業債残高	8,425,828	8,216,029	△209,799

④資金残高

(単位:千円)

	計 画	実 績	増 減
年度末保有資金残高	181,159	627,194	446,035

第2 前期実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

平成28年度は、当該年度の取組項目に掲げていた全23項目のうち、19項目を計画どおり実施し、3項目を計画どおりではないが実施し、1項目が実施できませんでした。

また、平成28年度の取組み計画としていなかった1項目について、実施しました。

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①下水道施設の計画的・効率的な管理		
管路施設の調査	A	25
ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施	A	25
②定員管理の適正化		
定員管理の適正化	A	26
③民間資金・ノウハウの活用の検討		
委託の拡大等の検討	A	26
先進事例の調査・研究	A	27
④広域化の検討		
広域化事例の調査・研究	A	27
⑤適正な資金管理		
適正な内部留保資金の確保	A	28
期中における資金管理の徹底	A	29
⑥下水道使用料の検証・検討		
前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	A	29
上下水道事業運営審議会への報告	C	30
⑦災害復旧体制の強化		
災害時を想定とした訓練の実施	A	31
下水道BCPの運用	A	31

注)実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかったもの

－：平成28年度における取組みがないもの ※：平成28年度における取組みはないが、実施したもの

◆基本方針2 汚水の適正な処理

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①汚水施設の整備拡充		
吉橋工業地域内における汚水管渠整備	B	32
②汚水施設の維持管理		
管渠・マンホールポンプの維持管理	A	33
不明水対策	B	33
ポンプ場機械修繕	A	34
③水質規制の指導・監督		
特定事業場の立入調査	A	34
④未接続の解消		
未接続世帯への個別訪問	A	35

◆基本方針3 浸水対策の強化

取組・施策名, 取組項目	実施状況	頁
①雨水施設の整備拡充		
八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）	A	35
八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）	※	36
上高野地区雨水排水整備工事	B	36
萱田南第1排水区雨水排水整備	—	36
大和田新田地区雨水排水整備	—	37
大和田地区雨水排水整備	—	37
②雨水施設の維持管理		
水路の浚渫作業	A	37
調整池の維持管理	A	38
③雨水流出抑制策の推進		
開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制	A	38

第3 前期実施計画 個別取組み状況

1 基本方針1 公共下水道事業の運営基盤の向上

①下水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	管路施設の調査				
取組目的・内容	永続的に安定的なサービスを持続させるために、管路施設を調査し施設の現状を分析するとともに、今後、法定耐用年数50年を迎える下水道施設が増加してくることから、将来の更新需要を的確に把握し、長期的な視点から施設を管理していきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	カメラ調査(八千代台地区)	カメラ調査(八千代台地区)			
実施状況	A				
28年度実施内容	八千代台地区の既設管渠について、テレビカメラ調査を実施しました。 なお、ストックマネジメント計画検討に係る基礎資料の充実を図るため、平成29年度に調査を予定していた箇所も含めて実施しました。 ・調査延長 11,341m				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕の実施				
取組目的・内容	施設の既存データの整理などにより、ストックマネジメント手法を踏まえた改築・修繕計画を策定し、それに基づき改築・更新計画などを行っていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	既存資料の収集・調査	既存資料の収集・調査	ストックマネジメント計画の策定	実施設計委託の実施、修繕工事の実施	改築・修繕工事の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	各地区ごとの管渠布設年度の確認等、資料の収集・調査を行いました。また、八千代台地区の管渠についてテレビカメラ調査を実施し、基礎資料の充実を図りました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

②定員管理の適正化

取組項目	定員管理の適正化				
取組目的・内容	平成 18 年度に行った上下水道事業部門の組織統合以降、事務の効率化などにより、人員の削減を実施してきましたが、今後においても、市全体の定員管理計画に基づき、事務事業の見直し、民間委託の拡大や再任用職員の活用などによる定員管理の適正化を進めます。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A				
28 年度実施内容	再任用職員及び臨時的任用職員の活用をしながら、職員の適正配置を行いました。				
28 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

③民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	委託の拡大等の検討				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続します。また、類似する業務の集約化が可能か検討を行います。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	対象業務の調査	仕様・発注方法の検討	委託業務の発注	委託業務の発注	仕様書についての見直し
実施状況	A				
28 年度実施内容	汚水中継ポンプ場の電気設備、消防設備の点検業務委託や沈砂・スクリーナカスの運搬処理業務等を運転管理業務委託と包括化して発注しました。 また、管渠維持管理に係る業務委託の包括化に向けて、既に実施している自治体に調査を行いました。				
28 年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	官民連携手法の先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
28年度実施内容	水道と下水道の両施設関連業務を一括で発注する包括委託の事例などの情報収集を行いました。				
28年度目標設定			目標値	実績値	
	—		—	—	

④広域化の検討

取組項目	広域化事例の調査・研究				
取組目的・内容	本市は、千葉県が管理する印旛沼流域下水道の終末処理場において、他の事業者と共同で汚水処理を行なっていますが、それ以外の事業統合については、具体的な検討に至っていません。しかしながら、他の事業者が進める事例を注視し、調査・研究を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
28年度実施内容	他事業者が進める広域化事例についての情報収集を行いました。				
28年度目標設定			目標値	実績値	
	—		—	—	

⑤適正な資金管理

取組項目	適正な内部留保資金の確保				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）により，経営状況は改善傾向を見込んでいますが，過去の赤字経営により資金が枯渇していることから，前期計画期間においては内部留保資金の確保を図ります。				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保	計画的・効率的な事業運営による資金の確保
実施状況	A				
28 年度実施内容	使用料改定等による収入の増加及び，施設の維持管理費等の減少により，内部留保資金残高は計画値を上回りました。				
28 年度目標設定	内部留保資金残高	目標値		実績値	
		181,159 千円		627,194 千円	

取組項目	期中における資金管理				
取組目的・内容	<p>期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握し、資金管理を徹底し、定期預金の預入などによる利息の獲得と企業債の借入日の調整をすることによる支払利息の低減を図ります。</p>				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預金の利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入れを行いました。預入先の選定は、預入れの都度各金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関としました。</p> <p>企業債の借入れについては、支払利息の縮減に向けて、金利見直し方式の採用、据置期間の撤廃等の可否についての検討を行いました。</p>				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

⑥下水道使用料の検証・検討

取組項目	前年度決算に基づく水需要・料金収入・財務状況確認・分析				
取組目的・内容	<p>平成27年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の収入状況や財務状況の検証を行います。</p>				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>メータ検針等に基づく調定汚水量及び下水道使用料について、業態別の分析を毎月行いました。また、前年度の決算状況等により財務状況の確認・分析を行いました。平成27年度の使用料収入は、改定時に想定していた見込を上回りました。</p>				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	上下水道事業運営審議会への報告				
取組目的・内容	平成 27 年度に行った下水道使用料の見直し（改定）後の経営状況について、諮問機関である「上下水道事業運営審議会」へ報告を行い、適正な下水道使用料について検討していきます。				
年度別	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
実施計画	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告	経営状況の報告
実施状況	C				
28 年度 実施内容	<p>平成 27 年度決算において、平成 27 年 7 月 1 日からの下水道使用料改定の効果もあり、平成 23 年度から平成 26 年度まで続いた赤字から黒字となりました。</p> <p>平成 28 年度に開催した八千代市上下水道事業運営審議会においては、水道料金の従量料金の用途区分「行政財産用」の廃止、給水装置工事に係る手数料の見直し、経営戦略前期実施計画、水道料金の改定を視野に入れた水道事業の概要と現況、平成 28・29 年度の上下水道事業における主要施策について説明し、審議いただきましたが、下水道使用料の改定は年度途中であったため、年間を通しての適正な使用料の検証が可能となる平成 28 年度の経営状況より、審議会に報告を行うこととしました。</p>				
28 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦災害復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定とした訓練の実施				
取組目的・内容	地震などにより被災した下水道施設の短期間での復旧を可能とするために制定する「下水道BCP（業務継続計画）」に基づく防災訓練を実施し、復旧体制の強化を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施	・上下水道局防災訓練の実施 ・八千代市災害対応訓練の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>上下水道局防災訓練を平成28年7月に実施し、震度6弱の地震発生により村上第2汚水中継ポンプ場、北部汚水中継ポンプ場、稼働停止したマンホールポンプ1基の停電を想定し、マンホールポンプへの発電機接続による応急復旧訓練を実施しました。</p> <p>また、八千代市災害対応訓練を平成29年1月に実施し、震度6強の地震発生によりマンホールポンプ1基の稼働が停止したことを想定し、発電機の接続などの応急復旧訓練を実施しました。</p>				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

取組項目	下水道BCPの運用				
取組目的・内容	大規模な災害などで職員、庁舎、設備などに相当の被害を受けても、優先実施業務を中断させず、たとえ中断しても許容される時間内に復旧できるようにするため、「下水道BCP（業務継続計画）」を制定し、防災訓練などで判明した問題点について対策を検討したうえで、見直しを行っていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	BCPの制定	内容の精査	内容の精査	内容の精査	内容の精査
実施状況	A				
28年度実施内容	下水道BCPを制定し、BCPに基づく防災訓練の実施や、千葉県と合同でBCPに基づく訓練を実施しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
	—		—	—	

2 基本方針 2 汚水の適正な処理

①汚水施設の整備拡充

取組項目	吉橋工業地域内における汚水管渠整備				
取組目的・内容	<p>本市においても、近い将来に人口減少が見込まれているため、下水道の基盤整備と料金収入のバランスを考慮して、効率的・効果的な汚水処理施設の整備を図ります。</p> <p>事業計画に基づき、平成 32 年度まで吉橋工業地域内の汚水管渠の整備を行います。</p>				
年度別実施計画	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事	汚水管渠築造工事(完了)
実施状況	B				
28 年度実施内容	<p>吉橋処理分区において、下記のとおり汚水管渠築造工事を実施しました。</p> <p>【平成 27 年度からの繰越分】</p> <p>推進 φ 200mm・250mm 延長 540.86m</p> <p>開削 φ 200mm 延長 331.09m 計 871.95m</p> <p>【平成 28 年度分】 ※平成 29 年度に繰越</p> <p>推進 φ 200mm 延長 440.47m</p> <p>開削 φ 200mm 延長 338.10m 計 778.57m</p>				
28 年度目標設定	汚水管渠の整備延長	目標値		実績値	
		576m		0m	

②汚水施設の維持管理

取組項目	管渠・マンホールポンプの維持管理				
取組目的・内容	管渠やマンホールポンプの定期的な点検・清掃を行い，機能の保全を図ります。				
年度別実施計画	28年度 点検・清掃	29年度 点検・清掃	30年度 点検・清掃	31年度 点検・清掃	32年度 点検・清掃
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>汚水管・マンホールポンプの点検清掃について以下のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃（昼間）：4,079m ・通常清掃（夜間）：6作業 ・緊急清掃（昼間）：12作業 ・緊急清掃（夜間）：2作業 ・マンホールポンプ清掃：20回 ・マンホールポンプ点検：4回 				
28年度目標設定	汚水管渠の清掃延長	目標値		実績値	
		3,000m		4,079m	

取組項目	不明水対策				
取組目的・内容	汚水管渠に地下水などが流入するいわゆる「不明水」を減らすため，区域ごとに順次カメラ調査を実施し，管渠の破損などが確認された場合は補修を行います。				
年度別実施計画	28年度 ・不明水調査（北部処理分区） ・不明水対策関連補修（萱田町処理分区）	29年度 ・不明水調査（北部処理分区） ・不明水対策関連補修（萱田町処理分区・北部処理分区）	30年度 ・不明水調査（北部処理分区） ・不明水対策関連補修（萱田町処理分区・北部処理分区）	31年度 ・不明水調査（佐山処理分区） ・不明水対策関連補修（北部処理分区）	32年度 ・不明水調査（佐山処理分区） ・不明水対策関連補修（北部処理分区）
実施状況	B				
28年度実施内容	<p>下記のとおり不明水対策に関する事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不明水調査（北部処理分区）：調査延長：1,760m ・不明水対策関連補修（萱田町処理分区）：内面補修工事：42箇所 管渠更新工事：175m 				
28年度目標設定	不明水調査延長	目標値		実績値	
		2,200m		1,760m	

取組項目	ポンプ場機械修繕				
取組目的・内容	老朽化する汚水中継ポンプ場の機械設備については、修繕計画に基づいて修繕を行います。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	北部中継ポンプ場汚水ポンプ分解修繕			村上第2汚水中継ポンプ場ポンプ分解修繕	
実施状況	A				
28年度実施内容	修繕計画に基づき、北部汚水中継ポンプ場No.1 汚水ポンプの分解整備を行いました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

③水質規制の指導・監督

取組項目	特定事業場の立入調査				
取組目的・内容	民間事業者などが新たに特定事業場を設置する場合の除害施設に関する指導や特定事業場の排水の水質について立入調査を行うことで、管渠内への有害物質や油類の流入を防止します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知	・立入調査 ・調査結果の通知
実施状況	A				
28年度実施内容	特定事業場立入調査を述べ12回実施しました。				
28年度目標設定	年間延べ立入調査回数		目標値	実績値	
			8回	12回	

④未接続の解消

取組項目	未接続世帯への個別訪問				
取組目的・内容	公共下水道が整備された区域内における未接続世帯が減少することにより、河川などの環境保全が図られ、下水道使用料の増収にもつながります。未接続世帯に対して、水洗化による環境保全の効果について理解していただくことにより、公共下水道への接続を促します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施	訪問の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	すべての未接続世帯に対し、訪問、現地調査、世帯状況調査を実施しました。				
28年度目標設定	訪問件数		目標値	実績値	
			300件	622件	

3 基本方針3 浸水対策の強化

①雨水施設の整備拡充

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（調整池の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害をもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、大和田南小学校の校庭の地下に調整池を整備します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実施設計	整備工事	整備工事		
実施状況	A				
28年度実施内容	八千代1号幹線浸水対策（調整池設置）実施設計業務委託を発注しました。これに基づき、平成29年度から30年度にかけて、調整池築造工事を実施します。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	八千代1号幹線浸水対策（管渠の整備）				
取組目的・内容	平成25年に発生した台風26号による豪雨により、大きな被害がもたらされた八千代1号幹線沿線地域（大和田地区、八千代台北及び八千代台東地区の一部）の浸水対策のため、新たに管渠を整備します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		実施設計		整備工事	整備工事
実施状況	※				
28年度実施内容	設計資料の早期充実を図るため、八千代1号幹線浸水対策（管渠布設）実施設計業務委託において、一部区間（開削施工区間）の実施設計を前倒しで実施しました。 ※平成28年度実施を予定していた計画はありませんでしたが、今後の計画に関わる業務を上記のとおり実施しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	上高野地区雨水排水整備工事				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	実施設計			整備工事	整備工事
実施状況	B				
28年度実施内容	上高野地区管渠実施設計業務委託（雨水）を発注しましたが、関係機関との協議に時間を要することとなったため、年度内の完了が困難となり、平成29年度に事業を繰越しました。				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	萱田南第1排水区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
				実施設計	
実施状況	—				
28年度実施内容	平成28年度実施計画なし				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田新田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
実施状況	—		実施設計		整備工事
28年度実施内容	平成28年度実施計画なし				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	大和田地区雨水排水整備				
取組目的・内容	道路冠水などが多発する箇所について、排水施設の整備を進めていきます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
実施状況	—		実施設計		整備工事
28年度実施内容	平成28年度実施計画なし				
28年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②雨水施設の維持管理

取組項目	水路の浚渫作業				
取組目的・内容	水路の浚渫作業を行い施設を適切に管理することで、大雨による浸水被害などを軽減します。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
実施状況	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫	高津団地内排水路の浚渫	八千代1号幹線の浚渫
28年度実施内容	A				
28年度実施内容	約5,000mにわたり、八千代1号幹線の浚渫作業を実施しました。				
28年度目標設定	浚渫作業回数		目標値	実績値	
			1回	1回	

取組項目	調整池の維持管理				
取組目的・内容	調整池放流口付近の清掃や調整池内の除草作業を実施し、施設を健全に保ちます。				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草	・調整池の点検・清掃 ・調整池内の除草
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>下記のとおり調整池の維持管理を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託業者による調整池の清掃：1回 ・委託業者による調整池内の除草：2回 ・下水道課職員による点検，除草作業：36回/年 				
28年度目標設定	調整池の点検・清掃回数	目標値		実績値	
		36回/年		36回/年	
	調整池の除草作業回数	2回/年		2回/年	

③雨水流出抑制策の推進

取組項目	開発行為などによる民間事業における雨水の流出抑制				
取組目的・内容	<p>近年、局所的な集中豪雨や急速に進む都市化の進展に伴い、雨水排水施設の能力を上回る降雨による内水被害が発生しています。</p> <p>これらの負担を軽減し、内水被害を減少させるため、開発行為などによる民間事業において「八千代市雨水排水施設整備指導方針」に基づく協議・指導を行い、雨水の流出抑制を図っていきます。</p>				
年度別実施計画	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施	協議・指導の実施
実施状況	A				
28年度実施内容	<p>開発事業事前協議において「八千代市雨水排水施設整備指導指針」に基づき、下水道計画における雨水排水施設の能力を超える事業地からの雨水流出について、雨水流出抑制施設の設置を行うよう協議・指導を行いました。</p>				
28年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

**八千代市上下水道事業経営戦略
前期実施計画
平成28年度取組状況**

発行日	平成29年9月
発行	八千代市上下水道局
編集	八千代市上下水道局 経営企画課
所在地	八千代市萱田町596-5
電話	047-483-6572 (直通)
FAX	047-483-6111
E-mail	keiei1@city.yachiyo.chiba.jp